

周波数上昇リレー（OFR）の標準整定値整定の変更について（低圧）

平素は、弊社電気事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、広域的運営推進機関主催の「第5回将来の運用容量等のあり方作業会」において、周波数上昇限度値の妥当なレベルが整理されました。

作業会での整理を踏まえ、九州エリアにつきまして、周波数上昇時に発電設備等の一斉解列が発生して電力系統全体の周波数維持に大きな影響を及ぼすことを避けるため、低圧発電設備等の周波数上昇リレー（OFR）の標準整定値（検出レベル及び検出時限）を変更いたします。

低圧系統に発電設備等を新たに連系、または既設の発電設備等をリプレイスする事業者におかれましては、変更後の標準整定値での整定をお願いいたします。

記

【周波数上昇リレー（OFR）の標準整定値（低圧）】

電源種を問わず、一律、「検出レベル：61.8Hz、検出時限：0.5秒」を標準といたします。

項目	変更前	変更後
検出レベル	61.2Hz	<u>61.8Hz</u>
検出時限	1.0秒	<u>0.5秒</u>

【適用日】

2026年8月1日以降の契約申込分より適用

【備考】

- ・今回の標準整定値の見直しは、万一、開門連系線の事故時などに九州エリアの周波数が一時的に上昇した場合に、周波数上昇リレー（OFR）により発電設備等が一斉に停止し、周波数が過度に低下することで大規模停電が発生することを防ぐためのものです。
- ・今回の標準設定値の変更によるお客さまの売電量への影響はございません。
- ・既設の発電設備等につきましても、先般お知らせしております周波数低下リレー（UFR）の標準整定値「検出レベル：57.0Hz（FRT要件の適用を受けない発電設備等の場合は58.2Hz）、検出時限：2.0秒」とあわせて、点検時などの整定変更にご協力をお願いいたします。

（参考）既連系発電設備における周波数低下リレー（UFR）の整定値変更のお願いについて

<https://www.kyuden.co.jp/td/service/wheeling/ufr-change.html>

以 上